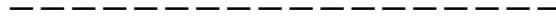




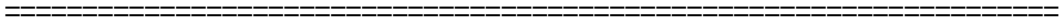
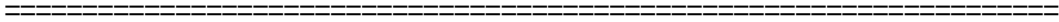
岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方にのみお送りしています

第 10 号 (2010 年 9 月 7 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室



九月に入っても日中はまだまだ暑いですが、朝夕の空気にほんの少し秋の気配も感じられるようになりました。

法学部だより第 10 号をお届けします。教員紹介は、民法担当の 2 人の先生、吉岡先生と岩藤先生をご紹介します。また、今回から「半田山つれづれ」と題して佐野 寛 法学部長のコラムを不定期に掲載します。

目次

○ 半田山つれづれ ～法学部長の独り言～ (第 1 回)

○ 法学部教員紹介

○ 法学部からのお知らせ

○ 最近の話題

○ 半田山つれづれ ～法学部長の独り言～（第1回）

今年例年になく猛暑が続いていますが、8月21日（土）・22日（日）と奈良に行ってきました。5年ほど前から毎年開催される学生時代のサークルグループの年1回の集いに参加するためです。学生時代の2年生から4年生の夏休み、木曾川河畔で設営されるキャンプ場のキャンプ・リーダーをしていました。大学も専門も異なり、男子も女子も関係のない肉体労働の毎日。入れ替わりやってくる子ども達とテントを張り、飯盒で飯を炊き、キャンプファイヤーに興じていました。あの頃からすでに30年余りが立ち、集うメンバーの人生もまちまちですが、毎回思うことは、今でも集まると皆あの当時の人柄そのままであること。人間、根の部分は変わらない、といつも思います。そして、皆それぞれの場で一所懸命に生きていることに強い刺激を受けて帰ってきました。

学生時代にこうした友を持つことができたこと。それが今の自分を支えているのかもしれない。今年も、10月にホームカミングデーを開きます。久しぶりの出合いが、皆さんにとって新たな生きる力になればと願います。どうか是非とも多数の皆さんご参加下さい。

*文章下手ですが、これから、つれづれに「独り言」を掲載することにしまし

た。適当に読み飛ばしていただければ幸いです。

法学部長 佐野 寛

○ 法学部教員紹介

☆ 吉岡 伸一（よしおか しんいち）教授

私は、平成15年4月に岡山大学法学部に赴任し、爾来、民法を担当させていただいています。したがって、今年は岡山に来て8年目ということになります。

ところで、私は、大学卒業後、地方銀行やコンサルティング会社に就職していましたが、昭和60年ころから金融法務の研究会や学会に参加するようになり、論文も書かせていただいていたことから、平成11年より大阪大学の客員助教授や大阪学院大学の非常勤講師を務めるようになっていました。そのような活動の関係から、岡山大学法学部の先生から、「常勤」でやってみないかと言われ、その気になって現在に至っています。そのため、良くも悪くも、今でも理論的考察よりも現実的思考が優先しています。

さて、学生時代には、剣道部（中学）や陸上競技部（高校）やスピードスケート部（大学）に入っていました。特に、大学時代に、授業を休んで、冬の八ヶ岳山麓で合宿したのを今でも忘れることができません。朝の5時半に起床して、朝食前に、まだ夜も明けきらない時から、東の空に金星と水星を、西に朝焼けでオレンジ色に輝く八ヶ岳を見て、400メートルリンクで1万メートルを2本滑っていました。おかげで太腿は、いまでも太いまです。スケート靴も4足大事に残しています。今は、体力

も落ちましたから、OSKで週に1回500メートルのスイミングを楽しんでいます。
一緒に泳ぎたい人がいれば、一度OSKを覗いてください。

☆ 岩藤 美智子（いわどう みちこ）教授

法学部で民法を担当しております岩藤です。2004年4月に岡山大学に赴任し、
高校卒業後、神戸と彦根での生活を経て、何年ぶりかは敢えて申しませんが、生まれ
故郷に戻って参りました。

岡山といえば「桃」。清水白桃をはじめとする白桃はもちろんのこと、その後に出
回る黄桃も濃厚な味で、おいしいですよ。ところで、桃にはやっかいな性質がある
ことをご存じの方もいらっしゃると思います。一つめは、保存について。桃の繊
細な表皮は、少しの衝撃でも傷が付き、冷温にも弱いため、冷蔵庫で保存すること
ができません。もう一つは、果汁について。衣類に付くと茶色いシミになって、洗濯を
しても落ちません。そこで、まず、緩衝材に包んで常温で保存し、冷たいのがお好み
ならば、頂く分だけ数時間前から冷蔵庫で冷やします。それから、シミが付いてもよ
い服に着替えるなどした上で頂くというのが、桃のやっかいな性質への対処方法とい
うことになります。

正確な理解に基づいて、適切な対応をすることができれば、集合債権の譲渡担保だ
ろうが、転用物訴権だろうが、親権者の代理権濫用だろうが、相続させる旨の遺言だ
ろうが・・・・・・、やっかいな問題は全て解決・・・・・・のはず。

○ 法学部からのお知らせ

☆第3回 法学部ホームカミングデーのご案内

法学部では、今年度も下記の要領で、第3回のホームカミングデーを実施します。

今年は、1980年に岡山大学法文学部が分離改組し、法学部が設置されて30年を迎えます。小畑隆資先生には、法文学部の分離改組から、法科大学院、大学院社会文化科学研究科設置などの最近までの法学部をめぐる動きを整理しお話しいただく予定です。

今回も、在学生と卒業生が交流できる機会としたいと思います。事前の申し込みは必要ありませんので、どうかこぞってご参加下さい。

日時： 10月23日（土）午後3時～午後5時半

場所： 文化科学系総合研究棟 2階 共同研究室

プログラム

1. 法学部長挨拶
2. 講演：小畑 隆資 名誉教授
演題： 未定
3. 法学部の教育・研究から

懇親会： 午後6時～午後7時半

マスカットユニオン 3階

(参加費 1000 円 在學生は無料)

(問合せ先 法学部長室 (担当: 柏原) 電話: 086-251-7470)

○ 最近の話題

☆岡山大学法学会雑誌 第 60 巻第 1 号 が刊行されました。

同号の内容は下記のとおりです。

論 説

民事再生手続による担保権、特約等の変更 (一) -----吉岡 伸一

国立大学法人による学長選考と文部科学大臣の学長任命権

—高地大学学長任命処分取消訴訟を素材として— -----中富 公一

マキャヴェッリは背徳の徒に微笑むか？

—マウリツィオ・ヴィロリにおける徳の概念について(二・完)---大森 秀臣

アスベスト訴訟が抱える法的問題と今後の対策 (四)

—疫学研究による因果関係の証明を中心に— -----辻 博明

担保保存義務に関する一考察

—判例・学説の推移 (一三) — -----辻 博明

研究ノート

フランスの新たな非営利法人制度

—fonds de dotation (寄附基金法人) の創設 —————井上 武史

判例研究

メイプルソープ事件Ⅱ —————井口 文男

児童ポルノ処罰法七条六項にいう「不特定の者に提供する目的」の意義

—————萩原 滋

住民基本台帳ネットワークシステムとプライバシー —————中村 誠

小動物の高速道路への侵入と道路管理の瑕疵 —————吉野 夏己

資料

ヨーロッパにおける基本権の保護

—EU の欧州人権条約への加盟— —————パトリック ドラ

(井上 武史 訳)

.....

・本メールマガジンは、岡山大学法学部に関する情報を提供する目的で毎月 2 回程度配信されています。 ・岡山大学法学部の詳細情報に関しては、HP も併せてご覧ください。 岡山大学法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>

・本メールマガジンには返信なさないようにお願いします。 ・本メールマガジンの配信を希望しない場合やメールアドレスの変更を 希望される場合には、以下の URL からご登録・解除ください。

<http://court.law.okayama-u.ac.jp/mail/register.html>

・ご意見・ご感想のある場合は、岡山大学法学部 情報委員会

joho@law.okayama-u.ac.jp までお願いいたします。

.....